

# IMC Supervisor Bulk Discovery CSVファイル形式の変更

## 内容

[概要](#)

[背景説明](#)

[問題](#)

[IMCS 2.0.0.2以前](#)

[IMCS 2.0.0.2 ~ IMCS 2.1.0.2](#)

[解決方法](#)

[IMCS 2.2.0.0](#)

[FAQ](#)

## 概要

このドキュメントでは、ディスカバリプロファイルで使用されるカンマ区切り値(csv)ファイル形式の重要な変更について説明します。この変更により、お客様がラックサーバのパラメータを提供する柔軟性と堅牢性が向上しました。また、フィールドで発生するフォーマットのすべてのフォーマットと頻繁なエラーをカバーすることを目的としています。

## 背景説明

Cisco Integrated Management Controller Supervisor(IMCS)は、ラックサーバを管理する堅牢な機能を備えた管理ソフトウェアです。ユーザは、検出、インベントリ、ファームウェアアップグレードの実行、およびその他の複数の操作を実行できます。ラックサーバの検出は、検出するIPアドレスのリストを含む検出プロファイルを作成して実行できます。IPアドレスは、IPのリスト、IP範囲、サブネット、またはcsvファイルを使用して提供できます。このドキュメントで説明する形式の変更は、このcsvファイルに関するものです。

## 問題

### IMCS 2.0.0.2以前

IMCS 2.0.0.2以前のcsvファイル形式(2.0.0.1以前)には、IPアドレスだけが含まれていました。これらのIPアドレスは、次の表に示すように、すべての行で提供されています。

	A	B
1	209.165.201.1	
2	209.165.201.5	
3	209.165.201.13	
4	209.165.201.9	
5	209.165.201.27	
6		

無効な形式：

ユーザは、次に示すように、IPアドレス列を適宜入力します。

	A	B	C	D	E
1	209.165.201.1	209.165.201.5	209.165.201.13	209.165.201.9	209.165.201.27
2					

## IMCS 2.0.0.2 ~ IMCS 2.1.0.2

形式がキーと値のペアに変更され、csvファイルの一部として提供されるより多くの値がサポートされました。また、任意の順序でエントリを提供する柔軟性も追加されました（つまり、特定の列にエントリを提供するための厳密な制約はありません）。たとえば、IPアドレスの前後に連絡先情報を入力できます。キーは、IP、説明、ロケーション、連絡先、タグ、ラックグループです。

注：省略したキーと値のペアを指定する必要はありません。

たとえば、サーバでDescriptionが使用できない場合、csvファイルには値が空であることを示すエントリDescription=が必要ありません。次のスクリーンショットの最初の行は、この使用例の例です。

	A	B	C	D	E
1	IP=10.105.219.123	Location=Location	Contact=Contact	tags=TC:TC;	
2	IP=10.105.219.124	Description=10.105.219.124	Location=Location	Contact=Contact	Rack Group=Meg
3	IP=10.105.219.66	Description=10.105.219.66	Location=Location	Rack Group=Meg	

制約：

csvファイルのすべての行にキーを指定する必要があります。

無効な形式：

ここでは、フィールドで見つかった無効な形式をいくつか示します。

- すべてのキーのプロビジョニング：

値を持たないキーがcsvファイルに提供され、例外が発生して検出が行われなくなります。このスクリーンショットでは、キーのラックグループとタグが提供されていますが、値は提供されていません。

	A	B	C	D	E	F
1	IP=10.28.106.136	Description=desc	Location=loca	Contact=contacter	Rack Group=	Tags=
2	IP=10.28.106.137	Description=desc	Location=loca	Contact=contacter	Rack Group=	tags=

- キーをヘッダーとして、値を列エントリとしてプロビジョニングします。

キーはヘッダーとして提供され、値は列のエントリとして示されます。これにより、最初の行にIPが使用できないというエラーが発生し、検出プロファイルが作成されません。

IP=	Description=	Location=	Contact=	Rack Group=	Tags=
10.28.106.137	desc	loca	contacter	RGroup2	T1:X1

## 解決方法

### IMCS 2.2.0.0

以降、csvファイル形式は、次に示すようにカンマ区切り値です。列は、IPアドレス、説明、ロケーション、連絡先、ラックグループ、タグです。ディスクバリエーションファイルの作成時に使用できない、または不明なエントリの値を指定するには、省略できます。

スクリーンショットに示すように、提供されていないエントリは空のままです。ただし、IPアドレスフィールドは必須です。

このスクリーンショットに示すように、複数のタグ値をセミコロンで区切って指定できます。

このスクリーンショットでは、2つのタグ ( TagXとTagY ) があり、ラックサーバに関連付けられている各タグの値はそれぞれValueXとValueYです。また、連絡先の列には任意の文字列値を使用できます。たとえば、電子メールID、電話番号、またはその他の文字列値を含めることができます。

次のスクリーンショットにサンプルのエントリを示します。

1	10.105.219.123	Description1	BGLocation-10	abc@abc.com	Colusa2_Rack_Group	TagX:ValueX;TagY:ValueY
2	10.105.219.124		BGLocation-11		Colusa2	
3	10.105.219.66	Description2	BGLocation-12	abc@abc.com	Colusa2	
4	10.105.219.122			919-555-1212		TagX:ValueX;TagY:ValueY

注：古い形式は、リリースIMCS 2.2.0.0ではサポートされていません

制約：

厳密なカラム制限。各列には、その特定の値のみを含める必要があります。

Column-1	IP Address
Column-2	Description
Column-3	Location
Column-4	Contact
Column-5	Rack Group
Column-6	Tags

## FAQ

(Q)ユーザがIMCS 2.2で古い形式のcsvを指定しようとする、どうなりますか。

(A) IMCSはアップロード時にエラーをスローし、形式が無効であることを示します。

(Q)説明、位置、タグの値にスペースを使用できますか。

(A)はい。スペースは、[説明]、[位置]、および[タグ]の値で使用できます。

(Q)最初の列でIPの代わりにホスト名を指定できますか。

(A)はい。ホスト名を指定できます。

(Q)ラックグループを指定しない場合、どうなりますか。

(A)ラックグループが指定されていない場合は、[Default Group]ラックグループにラックサーバが追加されます。

(Q)連絡先は常に電子メールIDですか。電話番号やその他の値を指定できますか。

(A)はい。連絡先は任意の値にすることができます。IMCSはすべての文字列値を受け入れます。